

平成 24 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ホッコク
代表者名 代表取締役 中井 二男
[JASDAQ コード 2906]
問合せ先 取締役管理本部長 青池 啓忠
TEL 03-3512-4005

当社株式の大阪証券取引所における「合併等による実質的存続性の喪失」 に係る審査に関する見通しについてのお知らせ

当社は、平成 24 年 5 月 21 日付「当社株式の大阪証券取引所における『合併等による実質的存続性の喪失』に係る審査に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、平成 20 年 4 月 1 日より平成 24 年 3 月 31 日までを期日とする「合併等による実質的存続性の喪失に係る猶予期間」に入り、猶予期間終了日である平成 24 年 3 月 31 日までに新規上場審査基準に準じた基準に適合しているかどうかの審査申請（以下「適合審査申請」といいます。）を行うことができなかったため、現在、監理銘柄（確認中）に指定されております。そこで、現在の当社の状況及び今後の見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 適合審査に関する見通し

当社は、すでにお知らせしておりますとおり¹、①適合審査申請の準備作業をすすめてきた幹事証券会社より、平成 24 年 3 月期を基準期として適合審査申請ができる状態ではないと判断したので契約を解除するとの申し入れがあり、平成 24 年 3 月 31 日をもって当社と当該幹事証券会社の契約が解除されたこと、②独立監査人より、四半期レビュー報告書（第 42 期第 2 四半期及び第 42 期第 3 四半期）、及び監査報告書（第 42 期）において、除外事項を付した限定付結論及び限定付適正意見が記載された報告書を受領したこと²、及び③吉田元代表取締役の下平成 22 年 3 月期において行われた輸出取引及び三国間貿易（以下「本件海外取引」といいます。）に関し重大な疑義が存在する可能性を視野にいたした社内調査委員会の調査が開始されたことから、平成 24 年 7 月上旬までに適合審査申請を行うことが困難な状況にありました。

そして、①については、適合審査申請を行うためには幹事証券会社の選任が手続上必須であるところ、現時点で、未だ、新たな幹事証券会社と契約を締結することができていません。また、②については、独立監査人より、前期（第 44 期）については無限定適正意見を付した会社法監査による監査報告書を受領できましたが、③については、本件海外取引に関する調査にはまだ時間を要する見込みです。

また、平成 24 年 4 月 30 日に開催された当社臨時株主総会において選任された取締役の中から新たに代表取締役が選任され³、経営陣が刷新されたところ、平成 24 年 5 月 25 日付け「役員の異動に関す

¹ 平成 24 年 5 月 21 日付当社プレスリリース（「当社株式の大阪証券取引所における『合併等による実質的存続性の喪失』に係る審査に関するお知らせ」）をご参照下さい。

² 平成 24 年 3 月 14 日付け当社プレスリリース（「四半期レビュー報告書および監査報告書における除外事項を付した限定付結論及び限定付適正意見に関するお知らせならびに社内調査委員会の設置についてのお知らせ」）をご参照下さい。

³ 平成 24 年 5 月 7 日付当社プレスリリース（「代表取締役の異動に関するお知らせ」）をご参照下さい。

るお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社取締役である大浦真里枝が、当社代表取締役であった当時、不適切な取引等を行っていた事実が新たに発覚し、当社は、現在、その調査及び対応にも追われています。そして、平成24年7月上旬を想定される適合審査申請期限まで1ヶ月弱しか残されていない中で、本件海外取引に加え、上記の不適切な取引等の調査も行い、これらについて株主の皆様には適切な調査結果をご報告させて頂くには、1ヶ月を超える相当の時間を要することが現状であります。したがって、当社は、現段階において適合審査の申請を行っていない状態にあることを、株主の皆様にご報告せざるを得ません。

当社はこれまで、上場維持のため最大限の努力を重ねてまいりましたが、現在かかる状況となっていることを、株主の皆様にご改めて深くお詫び申し上げます。

2. 今後の見込み

適合審査の申請ができない場合は、当社株式は、猶予期間終了後最初の有価証券報告書提出日（平成24年6月下旬予定）から起算して8日目の日（休業日は除く）以降、上場廃止となる銘柄として整理銘柄に指定され、その後、原則1ヶ月間の整理売買を経てJASDAQ市場への上場が廃止となる予定です。上場廃止後は、当社株式をJASDAQ市場において取引することはできません。

3. 今後の当社の取組み

平成2年の店頭公開以来、株主の皆様をはじめとして関係各位の皆様には、長年にわたり当社に温かいご支援を賜りましたことを、改めて衷心より感謝申し上げます。

今後、適合審査の申請ができない場合、当社は非上場会社となる見通しですが、全役職員一丸となり設立当初の原点に立ち返り、当社経営及び事業の再構築を、スピード感を持ち取り組んでまいり所存であります。

当社としましては、今年度を新生ホッコクの第二の創業期と位置付け、新たなる再出発の起点としてまいります。そして、この機会に、過去数年にわたり発生した不適切な取引や処理を完全に一掃するとともに、経営陣及び組織を刷新する等、コーポレートガバナンスの強化を図り、株主の皆様にご納得いただける公正かつ透明性のある新生ホッコクの再建を、可及的速やかに図ってまいります。経営面においては、創業者である青池保氏をはじめ、創業当初からご協力及びご指導をいただいたメンバーにも、参画していただく予定です。

事業面におきましては、現在のフランチャイズ加盟325店及び直営31店を通じて、全国の数多くのお客様にご愛顧いただいております“どさん子”ブランドの商品及びサービスの更なる改善を図り、年々激化しているラーメン業界での競争力強化のために必須である付加価値化と差別化に取り組んでまいります。

また、昨年来、試験的に出店を開始した中国市場においては、漸く本格的な展開を進める準備が整ってきております。こちらにつきましても、新たなパートナーシップの構築等を通じて、鋭意事業拡大を図ってまいります。

以上の取り組みにより、新生ホッコクの再建を速やかに実現し、多くのお客様に喜びと感動を与えられる商品・サービスを提供してまいるとともに、当社事業の持続的成長性の再構築を早期に実現することにより、適合審査の申請ができず上場廃止となった場合であっても、再上場も視野に入れた経営及び事業の再生に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜れますよう、宜しくごお願い申し上げます。

以上